

# 北海道における地方議員と住民間の協働支援システム

【研究代表者】  
小樽商科大学 木村泰知

## ■研究目的

テレビや新聞などのマス媒体では、多くの地方議員の活動は取り上げられにくく、また、必ずしも自分が関心のある分野や興味のある分野の情報が入手しやすい手段とは言えないため、住民の興味や関心にあわせて政治情報をパーソナライズして住民に提供するシステム(「協働支援システム」)を開発することを目的として研究を実施します。

## ■研究開発の概要

地方議員の活動は、議事録や後援会だよりなどから、住民の興味や関心はブログなどから、それぞれ情報を収集し、それらの情報を自然言語処理技術を用いることで、必要な情報の分析や抽出を行い、住民のニーズに合わせた情報を提供します。

## ■期待される研究成果及びその社会的意義

これまでなかなか知る手段がなかった、地方議員の活動などを知る手段を提供できるとともに、地方政治への関心や参画意欲の向上を通じて、地域住民の生活向上につながる可能性のある取り組みであると考えています。

